

「クエルナバカ追想」雑感

1985年5月13日に成田を出発し、翌年5月30日に帰国した一年間を振り返ってみました。海外赴任は初めての経験でもあり、言葉も不自由なことから相まって、今も失敗談は忘れることはありません。メキシコのクエルナバカは高度1500メートルの所で、睡眠が浅く、食事が進まない状況にあります。夏は雨期で、雷と夕立が来れば(毎日)、満天の星と、涼しさが訪れます。水は沸騰させて、飲んでいました。メキシコ語も次第に慣れてきましたが、会議と電話は苦手でした。コークはビン入りで販売されており、ビン持ち込みで、中味のみ安く購入できます。工場の床には押しつぶされたビンのキャップが散在しており、キャップの管理ができていなかったのが残念でした。1985年はメキシコ地震と、日本ではJALの遭難でした。この思い出深い一年を思い付くままにまとめてみました